

BRIAN ENO AMBIENT KYOTO

ヴィジュアル・アートに革命をもたらしたブライアン・イーノによる音と光の展覧会

BRIAN ENO AMBIENT KYOTO

会場：京都中央信用金庫 旧厚生センター

会期：2022年 6月3日（金）～ 8月21日（日）

●世界初公開作品含む全ラインナップを発表！

●横尾忠則氏からのコメントが到着！

●一般前売チケット発売開始！



メディアお問合せ先

HOW INC

MAIL pressrelease@how-pr.co.jp TEL 03-5414-6405 FAX 03-5414-6406

お客様お問合せ先

BRIAN ENO AMBIENT KYOTO info@ambientkyoto.com

<https://ambientkyoto.com>



ヴィジュアル・アートに革命をもたらした英国出身のアーティスト、ブライアン・イーノが、コロナ禍において、初となる大規模な展覧会「BRIAN ENO AMBIENT KYOTO」を、京都を舞台に2022年6月3日（金）より開催します。開幕を約1ヶ月後に控え、一般前売チケットの販売を開始すると共に、展覧会の全ラインナップと、横尾忠則氏から寄せられたコメントを公開しました。

今回発表された全ラインナップの注目点は、ブライアン・イーノの代表作3作品全てが一堂に会することと、世界初公開作品となる『Face to Face』が展示されることです。築90年の歴史ある建物がまさにイーノのアートで彩られることになります。

**ロキシー・ミュージックでのイーノのルックスとファッションは
美術を学んだ彼をやがて現代音楽の世界に接触するのではと予感
していたが、彼は磁石のようにあらゆる要素を肉体化していった。**

—— 横尾忠則（美術家）

各界でご活躍の方々よりコメントが寄せられております。ヴィジュアル・アート、音楽など多方面で全く新しい価値を創造し続けてきたイーノにふさわしいメッセージで溢れてます。

コメントを寄せていただいた方々；

石野卓球、宇川直宏（DOMMUNE）、小崎哲哉（『Realkyoto Forum』編集長）、初代選曲家・桑原茂一、テリー・ライリー、徳井直生（Qosmo代表 慶應義塾大学准教授）、永山祐子（建築家）、野田努（ele-king）、原 摩利彦（音楽家）、ピーター・バラカン（ブロードキャスター）、細井美裕（サウンド・アーティスト）、真鍋大度（Rhizomatiks）、山口一郎（サカナクション / NF）、湯山玲子（著述家、プロデューサー）、横尾忠則（美術家）、若林恵（編集者・黒鳥社） ＊敬称略、五十音順

コメント内容

<https://ambientkyoto.com/comments>

展示作品より 1/2

ブライアン・イーノの代表作『77 Million Paintings』、『The Ship』、『Light Boxes』の3作品全てが一堂に会することに加え、世界初公開作品『Face to Face』が展示発表されます。

*本資料の写真は、過去の展覧会の写真を使用しています。

①『77 Million Paintings』（『77 ミリオン・ペインティングス』）

途絶えることなく変化する音と光がシンクロして生み出される空間芸術作品。「7700万」というのはシステムが生み出すことのできるヴィジュアルの組み合わせを意味しています。2006年ラフォーレミュージアム原宿にて世界で初めて出展、その間アップデートを繰り返しながら世界各地を巡回すること47回、世界中のアート・ファンを魅了し、ヴィジュアル・アート界を代表する作品となりました。2022年、16年ぶりに帰還します。



音

途絶えることなく変化する音、雨や風のようにその環境の一部となる音楽。

×

光

イーノは映像アート作品でも音と同様、ヴィジュアルが途絶えることなく変化することを彼の芸術の目指すところとして数々の作品を発表してきた。

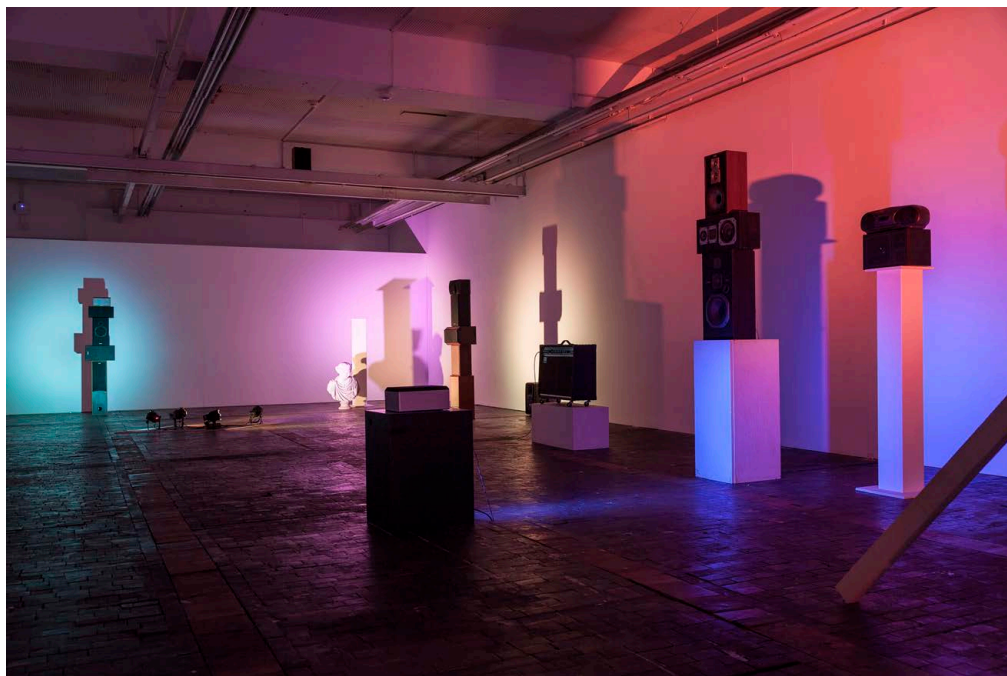
||

77 ミリオン・ペインティングス

②『The Ship』（『ザ・シップ』）

代表的なオーディオ・インスタレーション作品。多数の個性的なスピーカーから個別の音が鳴ることで、場所によって違う音が聴こえ、また部屋の中を移動すると個別のスピーカーから出る音を自発的にミックスすることもできます。

そして、スピーカーが視覚的特徴となるよう、照明などで空間を演出しています。



展示作品より 2/2

③『Light Boxes』（『ライト・ボックス』）

光りながら常に新たな色彩の組み合わせへと変わってゆく、LED技術を駆使した光の作品。作品の表面下にあるボックスが照らされ、光の色の組み合わせがゆっくりと変化すると共に、作品に対する見方も変化し、流れるような光の魅惑的な世界に引き込まれます。



④『Face to Face』（『フェイス・トゥ・フェイス』）

世界初公開作品。ランダムなパターンとその組み合わせによって、予期せぬアート作品を生み出す可能性を追求した作品。この作品は、実在する21人の人物の顔をそれぞれ1枚の静止画に収めた小さな写真群から始まった。特殊なソフトウェアを使い、画像は1つの本物の顔から別の顔へと、ピクセル単位でゆっくりと変化していく。これが、実際には存在しなかった人々、中間的な人間など、一人一人の本物の顔の間に「新しい人間」の長い連鎖を生み出し、毎秒30人ずつ、36,000人以上の新しい顔を誕生させることができます。

チケット販売概要

一般前売チケット販売開始！

●チケット購入サイト

<https://www.e-tix.jp/ambientkyoto/>

●チケット発売スケジュール

- ・一般前売チケット：5月9日（月）～6月2日（木）
- ・一般チケット：6月3日（金）～8月21日（日）

＊前売チケット販売は、上記チケット購入サイトでのオンラインのみの取り扱いとなります。

●チケット料金

[一般前売チケット]

平日：一般（大人）¥1,800 / 専・大学生 ¥1,300 / 中高生 ¥800
土日祝：一般（大人）¥2,000 / 専・大学生 ¥1,500 / 中高生 ¥1,000

[一般チケット]

平日：一般（大人）¥2,000 / 専・大学生 ¥1,500 / 中高生 ¥1,000
土日祝：一般（大人）¥2,200 / 専・大学生 ¥1,700 / 中高生 ¥1,200

＊小学生以下無料

展覧会のみどころ

1. ヴィジュアル・アートに革命をもたらしたイーノの空間芸術。

「川のほとりに座っているような、絶え間ない変化と同時に不変の体験をしたかったのです」

——ブライアン・イーノ

イーノは音楽制作において、反復でない、途絶えることなく続き、そして常に変化する音楽を作ることに尽力し、その音楽を「ジェネレーティヴ・ミュージック」と提唱し作品を発表してきました。その手法をヴィジュアルの分野でも用い、音と光の双方が途絶えることなく常に変化し、そしてシンクロしあう、「ジェネレーティヴ・アート」という空間芸術をつくりあげ、ヴィジュアル・アート界に革命をもたらしました。

2. その空間のその時にしか体験できない、参加型展覧会。

興味深く聞くことも、ただ聞き流すことも、無視することもできるというリスナー主体の、あらゆる聞き方を受容する「アンビエント・ミュージック」。

その創始者であるイーノは、展覧会においても、観客のあらゆる接し方を受容する空間を作り上げました。

絶え間なく変化し続ける音と光がシンクロする空間において、観客は、いつきたのか、部屋のどこにいたかによって他の誰とも違う体験をすることができます。

この観客が主体となる本展は、その空間のその時にしか体験できない参加型の展覧会です。

3. コロナ禍に行われる初の大規模な展覧会。

本展は、コロナ禍において、イーノによるはじめての大規模なインスタレーションとなります。

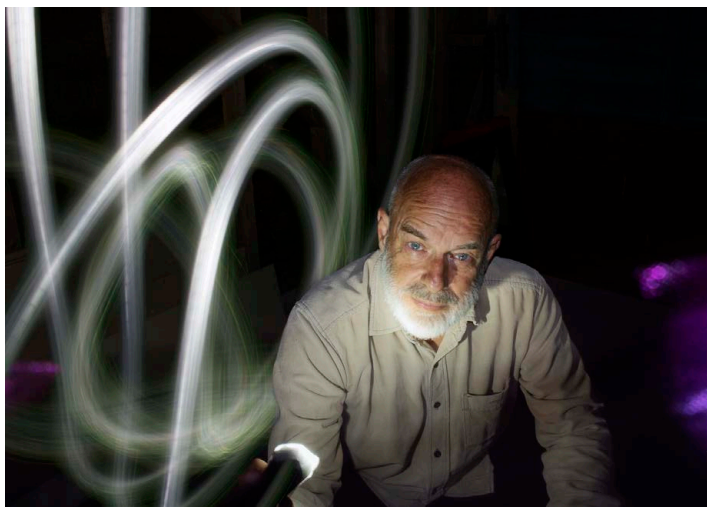
芸術家としての活動のみならず、環境問題など社会活動にも早くから取り組んできたイーノが、世界的文化都市、京都で、どのようなメッセージを発するののか、日本のみならず世界が注目する中、2022年6月に開幕を迎えます。会場は、築90年の歴史ある建築物「京都中央信用金庫 旧厚生センター」を、建物丸ごとイーノのアートで彩ります。

会場：京都中央信用金庫旧厚生センター



BRIAN ENO

<https://ambientkyoto.com/brian-eno>



「アートは人々に何かをもたらすために存在しているのではないか」。このイーノの問いかけは彼の芸術を、革新的であると同時に人々に広く開かれているものになっている。ヴィジュアル・アートのパイオニアとしてのみならず、アンビエントの創始者であり、世界で最も多く聞かれたサウンドのひとつWindows95の起動音を制作したように、彼の活動は、われわれの身近なカルチャーや生活にまで及ぶ。さらに彼は、世界的なプロデューサーであり、環境問題をはじめとする社会活動にいち早く取り組んできたアクティヴィストでもある。

Photo by Cecily Eno

① ヴィジュアル・アートのパイオニア

音と光がシンクロしながら途絶えることなく変化し続ける空間芸術。イーノが提唱したこの「ジェネレーティブ・アート」は、ヴィジュアル・アートに革命をもたらした。

② アンビエント・ミュージックの創始者

興味深く聞くことも、聞き流すことも、無視することもできるという、あらゆる聞き方を受容する「アンビエント・ミュージック」。それは発想の転換であり、20世紀の音楽文化におけるもっとも重要な革命のひとつ。

③ アクティヴィスト

よりよき社会を目指して早くから社会的活動を行ってきたイーノは、気候変動問題の解決を目的とした慈善団体「EarthPercent」を新たに設立。本イベントも収益の一部を寄付。earthpercent.com

④ 歴史的なプロデューサー

デヴィッド・ボウイ、U2、コールドプレイと手掛けた作品が世界的な大ヒット、そしていずれもが音楽史に名を残す名盤に。イーノは常に大衆文化との接点を大切にしつつ、そこに自分の芸術性を融合させることも忘れない。

⑤ トリビア

Windows95 の起動音の制作、新小惑星に「イーノ」の名が冠される。

プロフィール

ミュージシャン、プロデューサー、ヴィジュアル・アーティスト、アクティビスト。

70年代初頭にイギリスのバンド、ロキシー・ミュージックの創設メンバーの一人として世界的に注目を集め、その後、一連のソロ作品や様々なコラボレーション作品を世に送り出しています。プロデューサーとしては、トーキング・ヘッズ、ディーヴォ、U2、ローリー・アンダーソン、ジェイムス・ジェーン・シベリー、コールドプレイなどのアルバムを手がけ、デヴィッド・ボウイ、ジョン・ハッセル、ハロルド・バッド、ジョン・ケイル、デヴィッド・バーン、グレース・ジョーンズ、カール・ハイド、ジェイムス・ブレイク、そして実弟のロジャーとコラボレーションを行なっています。音楽活動と並行して、光や映像を使ったヴィジュアル・アートの創作活動も続け、世界中で展覧会やインスタレーションを行っています。ロジャー・イーノとは、初の兄弟デュオ・アルバム『ミキシング・カラーズ』(2020年)をリリースしました。これまでに40枚以上のアルバムをリリースし、ヴェネツィア・ビエンナーレ、サンクトペテルブルクのマーブル・パレス、北京の日壇公園、リオデジャネイロのアルコス・ダ・ラバ、シドニー・オペラハウスなど、広範囲に渡ってアート・エキシビションを行なってきました。長期に渡るスパンで文化的施設や機関の基盤となることを目的とする「Long Now Foundation」の創設メンバー、環境法慈善団体「ClientEarth」の評議員、人権慈善団体「Videre est Credere」の後援を務めています。2021年4月には「EarthPercent」を立ち上げ、音楽業界から資金を集めて、気候変動の緊急事態に取り組む最も影響力のある環境慈善団体への寄付を行っています。

Website	https://brian-eno.net
Twitter	https://twitter.com/brianeno
Instagram	https://www.instagram.com/brianeno/

開催概要

「ありきたりな日常を手放し、別の世界に身を委ねることで、自分の想像力を自由に発揮することができるのです」—— ブライアン・イーノ

タイトル：BRIAN ENO AMBIENT KYOTO（ブライアン・イーノ・アンビエント・キョウト）

会場：京都中央信用金庫 旧厚生センター

住所：京都市下京区中居町七条通烏丸西入113

会期：2022年6月3日（金）-8月21日（日）

開館時間：11:00 - 21:00 入場は閉館の30分前まで

チケット：

●チケット購入サイト

<https://www.e-tix.jp/ambientkyoto/>

●チケット発売スケジュール

・一般前売チケット：5月9日（月）～6月2日（木）

・一般チケット：6月3日（金）～8月21日（日）

＊前売チケット販売は、上記チケット購入サイトでのオンラインのみの取り扱いとなります。

●チケット料金

[一般前売チケット]

平日：一般（大人） ¥1,800 / 専・大学生 ¥1,300 / 中高生 ¥800

土日祝：一般（大人） ¥2,000 / 専・大学生 ¥1,500 / 中高生 ¥1,000

[一般チケット]

平日：一般（大人） ¥2,000 / 専・大学生 ¥1,500 / 中高生 ¥1,000

土日祝：一般（大人） ¥2,200 / 専・大学生 ¥1,700 / 中高生 ¥1,200

＊小学生以下無料

主催：AMBIENT KYOTO実行委員会（TOW、京都新聞）

企画・制作：TOW、Traffic

協力：α-station FM KYOTO、京都METRO、CCCアートラボ

後援：京都府、京都市、ブリティッシュ・カウンシル、FM COCOLO

機材協賛：Genelec Japan、Bose、Magnux、静科、SONOS

特別協力：Beatink、京都中央信用金庫

公式ホームページ: <http://ambientkyoto.com>

Twitter: <https://twitter.com/ambientkyoto>

Instagram: <https://www.instagram.com/ambientkyoto>

Facebook: <https://www.facebook.com/ambientkyoto>

会場 アクセスマップ

（京都中央信用金庫 旧厚生センター）

〒600-8219京都市下京区中居町七条通烏丸西入113

アクセス

・電車：JR京都駅より徒歩5分

・市バス：烏丸七条バス停より徒歩1分

＊東本願寺の南に隣接

